

## 第9分科会 「学校安全」 運営概要

【研究課題】 命を守る防災教育・安全教育の推進と校長の在り方

【研究の視点】 1 自ら判断・行動できる子どもを育てる防災教育・安全教育の推進

2 家庭・地域等との連携を図った組織的かつ計画的な防災教育・安全教育の推進

### I 分科会研究協議の運営計画

多くの人命を奪った北海道胆振東部地震、東日本大震災など、道内・日本各地において地震、水害、土砂災害等、自然災害がもたらす被害が一段と危惧されている。また、交通事故や不審者犯罪、児童虐待など子どもが被害者となる事故・事件の発生も増加している。さらに、スマートフォン等の急速な普及により、SNSに関わる犯罪は多様化・複雑化している。このように子どもたちを取り巻く危機的状況は深刻度を増している。こうした現状において、学校には、安心・安全な教育環境を確保するとともに、安全に関わる知識、危険予測・回避能力等を子どもたちに育むことが求められている。加えて、予測できない事態が起こった時、当面する課題に向き合い、自ら判断し行動できる力を身に付けることも求められている。

そのため、校長は、組織的かつ計画的に組み立てた教育活動を基盤に、家庭・地域・関係機関と連携・協働を図りながら、子どもの命を守るための諸課題に適切に対応しなければならない。

本分科会では、子どもたちの安心・安全を確保し、家庭・地域・関係機関と連携し対応する体制づくりや命を守る防災教育・安全教育を推進するための具体的方策と成果を明らかにする。

#### 視 点 1 自ら判断・行動できる子どもを育てる防災教育・安全教育の推進

- ・子どもに「自分の命は自分で守る」力を身に付けるための防災教育、安全教育の推進
- ・学校安全計画、年間指導計画等の整備と見直し、並びにマンネリ化を防ぐ訓練等の改善
- ・計画、実践、評価を連動させるための校長の役割と指導性の究明

#### 視 点 2 家庭・地域等との連携を図った組織的かつ計画的な防災教育・安全教育の推進

- ・家庭や地域、関係機関との綿密な連携体制の整備
- ・自助と共助の考え方に立ち、学校・家庭・地域が連携し、地域全体の防災力を高めるための取組の推進
- ・家庭・地域等との連携を図った組織的かつ計画的な取組を推進するための校長の役割と指導性の究明

### II 昨年度までの成果・課題 ～平成30年度 全連小函館大会より～

#### 【視点1についての成果】

- 「防災教育を教育課程に明確に位置付けること」や「地域の特性に応じた避難訓練等を実施する際には、校舎内外の状況を細かく把握するとともに、日ごろから点検を行い、備えておくこと」の重要性が確認されたこと。

#### 【視点2についての成果】

- 「校下地域や関係機関とのつながりを強め、防災に関する現状や取組の情報を共有すること」「明確なビジョンを示し、教職員の役割分担を明らかにするとともに、児童の情報を把握し、非常時にその特性に応じた対応ができるよう指示すること」の重要性が確認されたこと。

#### 【視点1についての課題】

- 自校の取組が、災害等から身を守る「生きる力」の育成につながっているかを検証する方策が必要であること。
- 防災教育・安全教育を教育課程に位置付けるに当たっては、必要十分な時間の保障を考えていく必要があること。

#### 【視点2についての課題】

- 各学校の特色ある取組について、広く情報交流する機会を設定し、検証・改善を図っていくことが大切であること。
- 危機意識の希薄化を防ぐためにも、校長が防災に対する意識を発信し続けることが必要であること。

### Ⅲ 研究発表の概要

◇研究発表者： 十勝地区 池田町立高島小学校 校長 森 浩 嘉  
「生きる力」を育てる防災教育の充実と校長の在り方  
～安全で安心な信頼される学校づくり～

#### ◇発表の概要

防災教育を充実させることは、学校現場における最優先課題の一つである。家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活において安全に関する活動の実践を促すことが重要である。さらに、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう、地域ぐるみの防災教育の充実が求められている。

こうした背景を踏まえ、防災教育における校長の役割について、「機会創設」と「連携構築」の二つの視点から、十勝地区での具体的な取組事例と会員のアンケート調査の結果を中心に発表する。

### Ⅳ 協議の流れ

1	開会・日程確認	13:00	～	13:10	(10分)
2	趣旨説明	13:10	～	13:20	(10分)
3	研究発表	13:20	～	13:45	(25分)
4	全体質疑	13:45	～	14:00	(15分)
5	休憩	14:00	～	14:10	(10分)
6	グループ討議	14:10	～	15:40	(90分)
7	全体討議	15:40	～	16:15	(35分)
8	まとめ・連絡	16:15	～	16:30	(15分)

### Ⅴ 討議の柱

#### 【1】「自ら判断・行動できる子どもを育てる防災教育・安全教育推進のための機会創設」

- ① 子どもの学習機会創設  
(防災に関する知識・技能の習得, 危険予測, 危機回避能力等)
- ② 職員の研修機会創設  
(学校安全計画, 防災教育年間計画, 危機管理マニュアル等)

#### 【2】「家庭・地域等との連携を図った組織的かつ計画的な防災教育・安全教育推進のための連携構築」

- ① 家庭や地域, 関係機関との連携構築  
(情報発信, 協力依頼, 出前授業, 地域ぐるみの取組等)
- ② 防災教育, 職員研修における地域等との連携構築  
(近隣小中高との連携, 警察, 消防, 行政との連携, 教育課程への位置付け等)

### Ⅵ お願い

- ◇グループ内で名刺交換を行いますので、お持ちください。10枚
- ◇グループ内での情報交換のため、自校の「防災教育」や「安全教育」に関する資料がありましたら、グループの人数分10部印刷の上、ご持参ください。※強制ではありません。任意です。
- ◇服装は、ノーネクタイ+上着ありのクールビズを基本といたします。